

一般社団法人 日本原子力学会

第15回総会 第2号議案

2024年度計算書類

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	281,273,138	258,620,147	22,652,991
(2) その他流動資産			
未収金	20,294,496	44,239,336	▲ 23,944,840
製品	10,870,785	11,752,283	▲ 881,498
その他流動資産	3,801,509	3,260,646	540,863
流動資産合計	316,239,928	317,872,412	▲ 1,632,484
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	27,473,200	24,634,300	2,838,900
減価償却引当資産	13,834,129	13,834,129	0
その他特定資産	114,473,761	100,053,044	14,420,717
特定資産合計	155,781,090	138,521,473	17,259,617
(3) その他固定資産			
器具及び備品	5	5	0
保証金	8,104,200	8,104,200	0
長期前払費用	863,301	2,210,407	▲ 1,347,106
その他固定資産合計	8,967,506	10,314,612	▲ 1,347,106
固定資産合計	184,748,596	168,836,085	15,912,511
資産合計	500,988,524	486,708,497	14,280,027
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,100,574	21,578,924	▲ 12,478,350
前受金	37,254,210	41,922,430	▲ 4,668,220
預り金	1,148,004	1,963,896	▲ 815,892
仮受金	1,149,203	0	1,149,203
未払消費税等	130,600	1,445,200	▲ 1,314,600
賞与引当金	7,689,000	6,897,000	792,000
流動負債合計	56,471,591	73,807,450	▲ 17,335,859
2. 固定負債			
退職給付引当金	27,473,200	24,634,300	2,838,900
固定負債合計	27,473,200	24,634,300	2,838,900
負債合計	83,944,791	98,441,750	▲ 14,496,959
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	88,921,161	74,511,283	14,409,878
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(87,921,161)	(73,511,283)	(14,409,878)
2. 一般正味財産	328,122,572	313,755,464	14,367,108
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,386,729)	(40,375,890)	(10,839)
正味財産合計	417,043,733	388,266,747	28,776,986
負債及び正味財産合計	500,988,524	486,708,497	14,280,027

貸借対照表内訳表

2025年03月31日現在

(単位:円)

科 目	事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
(1) 現金預金				
現金預金合計	0	281,273,138	0	281,273,138
現金預金合計	0	281,273,138	0	281,273,138
(2) その他流動資産				
未収金	20,219,996	74,500	0	20,294,496
製品	10,870,785	0	0	10,870,785
その他流動資産	3,396,000	405,509	0	3,801,509
その他流動資産合計	34,486,781	480,009	0	34,966,790
流動資産合計	34,486,781	281,753,147	0	316,239,928
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	0	20,000,000	0	20,000,000
基本財産合計	0	20,000,000	0	20,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	27,473,200	0	27,473,200
減価償却引当資産	0	13,834,129	0	13,834,129
その他特定資産	0	114,473,761	0	114,473,761
特定資産合計	0	155,781,090	0	155,781,090
(3) その他固定資産				
器具及び備品	0	5	0	5
保証金	0	8,104,200	0	8,104,200
長期前払費用	0	863,301	0	863,301
その他固定資産合計	0	8,967,506	0	8,967,506
固定資産合計	0	184,748,596	0	184,748,596
資産合計	34,486,781	466,501,743	0	500,988,524
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	6,625,095	2,475,479	0	9,100,574
前受金	1,980,360	35,273,850	0	37,254,210
預り金	535,874	612,130	0	1,148,004
仮受金	1,149,203	0	0	1,149,203
未払消費税等	0	130,600	0	130,600
賞与引当金	4,686,739	3,002,261	0	7,689,000
流動負債合計	14,977,271	41,494,320	0	56,471,591
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	27,473,200	0	27,473,200
固定負債合計	0	27,473,200	0	27,473,200
負債合計	14,977,271	68,967,520	0	83,944,791
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	0	63,140,352	0	63,140,352
基本財産	0	1,000,000	0	1,000,000
特定資産	0	24,780,809	0	24,780,809
指定正味財産合計	0	88,921,161	0	88,921,161
(うち基本財産への充当額)	(0)	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(87,921,161)	(0)	(87,921,161)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	(0)	(19,000,000)	(0)	(19,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(40,386,729)	(0)	(40,386,729)
正味財産合計	26,869,510	390,174,223	0	417,043,733
負債及び正味財産合計	41,846,781	459,141,743	0	500,988,524

正味財産増減計算書
2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	340	339	1
② 特定資産運用益	24,295	590	23,705
③ 受取会費	105,631,500	106,045,000	▲ 413,500
④ 事業収益	71,648,292	103,361,340	▲ 31,713,048
⑤ 受取補助金等	5,104,700	555,270	4,549,430
⑥ 受取負担金	7,975,000	11,777,000	▲ 3,802,000
⑦ 受取寄付金	7,051,890	10,550	7,041,340
⑧ 雑収益	3,091,256	11,074	3,080,182
⑨ 基金・繰越金振替額	8,585,771	3,220,158	5,365,613
経常収益計	209,113,044	224,981,321	▲ 15,868,277
(2) 経常費用			
① 事業費			
a. 人件費	46,549,978	45,110,688	1,439,290
b. 旅費交通費	7,228,471	7,558,000	▲ 329,529
c. 通信運搬費	10,468,126	12,741,784	▲ 2,273,658
d. 外注経費	24,618,397	25,799,827	▲ 1,181,430
e. 会議費	5,400,085	7,601,179	▲ 2,201,094
f. その他事業費	41,304,365	40,087,317	1,217,048
事業費小計	135,569,422	138,898,795	▲ 3,329,373
② 管理費			
a. 人件費	30,785,397	33,107,132	▲ 2,321,735
b. 旅費交通費	216,227	211,172	5,055
c. 通信運搬費	3,698,546	3,598,912	99,634
d. 外注経費	9,638,711	8,718,230	920,481
e. その他管理費	14,837,633	17,603,723	▲ 2,766,090
管理費小計	59,176,514	63,239,169	▲ 4,062,655
経常費用計	194,745,936	202,137,964	▲ 7,392,028
当期経常増減額	14,367,108	22,843,357	▲ 8,476,249
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,367,108	22,843,357	▲ 8,476,249
一般正味財産期首残高	313,755,464	290,912,107	22,843,357
一般正味財産期末残高	328,122,572	313,755,464	14,367,108
II 指定正味財産増減の部			
(1) 特定資産運用益	33,627	625	33,002
(2) 受取補助金	600,000	0	600,000
(3) 受取寄付金	22,362,022	2,007,558	20,354,464
(4) 一般正味財産への振替額	▲ 8,585,771	▲ 3,220,158	▲ 5,365,613
当期指定正味財産増減額	14,409,878	▲ 1,211,975	15,621,853
指定正味財産期首残高	74,511,283	75,723,258	▲ 1,211,975
指定正味財産期末残高	88,921,161	74,511,283	14,409,878
III 正味財産期末残高	417,043,733	388,266,747	28,776,986

正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	340	0	340
② 特定資産運用益	10,839	13,456	0	24,295
③ 受取会費	10,014,500	95,617,000	0	105,631,500
④ 事業収益	71,648,292	0	0	71,648,292
⑤ 受取補助金等	5,104,700	0	0	5,104,700
⑥ 受取負担金	7,975,000	0	0	7,975,000
⑦ 受取寄付金	7,051,890	0	0	7,051,890
⑧ 雑収益	2,955,414	135,842	0	3,091,256
⑨ 基金・繰越金振替額	0	8,585,771	0	8,585,771
経常収益計	104,760,635	104,352,409	0	209,113,044
(2) 経常費用				
① 事業費				
a. 人件費	46,549,978	0	0	46,549,978
b. 旅費交通費	7,228,471	0	0	7,228,471
c. 通信運搬費	10,468,126	0	0	10,468,126
d. 外注経費	24,618,397	0	0	24,618,397
e. 会議費	5,400,085	0	0	5,400,085
f. その他事業費	41,304,365	0	0	41,304,365
事業費小計	135,569,422	0	0	135,569,422
② 管理費				
a. 人件費	0	30,785,397	0	30,785,397
b. 旅費交通費	0	216,227	0	216,227
c. 通信運搬費	0	3,698,546	0	3,698,546
d. 外注経費	0	9,638,711	0	9,638,711
e. その他管理費	0	14,837,633	0	14,837,633
管理費小計	0	59,176,514	0	59,176,514
経常費用計	135,569,422	59,176,514	0	194,745,936
当期経常増減額	▲ 30,808,787	45,175,895	0	14,367,108
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前一般正味財産増減額	▲ 30,808,787	45,175,895	0	14,367,108
他会計振替額	25,921,876	▲ 25,921,876	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 4,886,911	19,254,019	0	14,367,108
一般正味財産期首残高	31,756,421	281,999,043	0	313,755,464
一般正味財産期末残高	26,869,510	301,253,062	0	328,122,572
II 指定正味財産増減の部				
(1) 特定資産運用益	0	33,627	0	33,627
(2) 受取補助金	0	600,000	0	600,000
(3) 受取寄付金	0	22,362,022	0	22,362,022
(4) 一般正味財産への振替額	0	▲ 8,585,771	0	▲ 8,585,771
当期指定正味財産増減額	0	14,409,878	0	14,409,878
指定正味財産期首残高	0	74,511,283	0	74,511,283
指定正味財産期末残高	0	88,921,161	0	88,921,161
III 正味財産期末残高	26,869,510	390,174,223	0	417,043,733

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

平均法による原価基準。

(2) 固定資産の減価償却の方法

器具及び備品 : 定額法

ソフトウェア : 定額法

リース資産 : 所有権移転外のファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 : 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金: 従業員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	24,634,300	3,546,100	707,200	27,473,200
減価償却引当資産	13,834,129	0	0	13,834,129
学会賞基金積立資産	7,422,719	3,186	548,160	6,877,745
奨学金基金積立資産	872,836	403	0	873,239
部会・連絡会指定積立資産	43,289,679	21,359,031	5,635,321	59,013,389
30周年記念国際協力基金積立資産	15,733,953	7,001	1,039,964	14,700,990
日米欧学生交流基金積立資産	0	600,164	600,164	0
山田基金積立資産	3,317,243	276,614	0	3,593,857
IT化促進基金積立資産	23,448,313	10,839	0	23,459,152
記念事業基金積立資産	3,093,448	0	0	3,093,448
フェロー基金積立資産	2,874,853	754,250	767,162	2,861,941
小計	138,521,473	26,557,588	9,297,971	155,781,090
合 計	158,521,473	26,557,588	9,297,971	175,781,090

※フェロー基金当期減少額は、山田基金へ振替分含む。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応 する額
基本財産				
定期預金	20,000,000	(1,000,000)	(19,000,000)	—
小計	20,000,000	(1,000,000)	(19,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	27,473,200	0	0	(27,473,200)
減価償却引当資産	13,834,129	0	(13,834,129)	—
学会賞基金積立資産	6,877,745	(6,877,745)	0	—
奨学金基金積立資産	873,239	(873,239)	0	—
部会・連絡会指定積立資産	59,013,389	(59,013,389)	0	—
30周年記念国際協力基金積立資産	14,700,990	(14,700,990)	0	—
山田基金積立資産	3,593,857	(3,593,857)	0	—
IT化促進基金積立資産	23,459,152	0	(23,459,152)	—
記念事業基金積立資産	3,093,448	0	(3,093,448)	—
フェロー基金積立資産	2,861,941	(2,861,941)	0	—
小計	155,781,090	(87,921,161)	(40,386,729)	(27,473,200)
合計	175,781,090	(88,921,161)	(59,386,729)	(27,473,200)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	831,038	831,033	5
ソフトウェア	13,003,096	13,003,096	0
合計	13,834,134	13,834,129	5

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基金事業への振替	
学会賞基金	548,160
フェロー基金	762,162
30周年記念国際協力基金	1,039,964
日米欧学生交流基金	600,164
計	2,950,450
部会、連絡会支出への振替	5,635,321
合 計	8,585,771

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. その他の事項

前年度まで「貸借対照表内訳表」及び「正味財産増減計算書内訳表」について、「実施会計」、「その他事業会計」及び「法人会計」の3会計区分としていたが、令和3年度で公益目的支出計画が終了した為、当年度より「事業会計」及び「法人会計」の2会計区分とすることとした。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,897,000	7,689,000	6,897,000	0	7,689,000
退職給付引当金	24,634,300	3,546,100	707,200	0	27,473,200
合 計	31,531,300	11,235,100	7,604,200	0	35,162,200

2024年度決算説明

第15回総会 第2号議案

補足資料(2025.6.20)

(単位:千円)

正味財産増減計算書 (対予算比較)

No	I 一般正味財産増減の部	2024予算 A(追加含)	2024年度実績 B	予算差 B-A	2024年度 実績 説明	2023年度実績
1	1. 経常増減の部					
2	(1) 経常収益					
3	①基本財産運用益	1	1	0		1
4	②特定資産運用益	1	24	23		0
5	③受取会費	104,621	105,631	1,010		106,045
6	入会金	400	500	100		560
7	正会員年会費	52,100	52,440	340		52,474
8	学生会員年会費	1,880	2,045	165		2,074
9	教育会員年会費	0	30	30		30
10	賛助会員年会費	46,060	46,360	300	標準委員会支援9,560千円含	46,660
11	部会費	3,700	3,802	102		3,800
12	連絡会費	481	454	-27	海外情報、SNW、核不拡散連絡会会費	447
13	④事業収益	91,556	84,738	-6,818		115,138
14	受託研究事業	1,330	1,463	133	契約1件	11,116
15	倫理委員会(図書)	22	56	34	東日本大震災における 原子力分野の事例に学ぶ技術者倫理他 売上	10
16	報告書売上	608	319	-289	放射線遮蔽設計ハンドブック応用編・基礎編、シビアクシデント時・・・、原子力がひらく世紀、原子力のいまと明日他売上他	524
17	編集委員会	26,214	25,159	-1,055	学会誌7,483千円、英文論文誌16,133千円、和文論文誌1,543千円	36,710
18	標準委員会	17,570	13,330	-4,240	標準図書売上8,220千円、講習会参加費831千円、原子力用語9千円、分担金4,270千円	17,759
19	大会・年会	26,362	29,066	2,704	近畿大(春)(101千円)参加費、予稿集、2025おひらき(春)参加費9,097千円 東北大(秋)(19,868千円)参加費、展示会展示料、懇親会参加費	32,927
20	部会	10,502	6,806	-3,696	19部会 水化学報告書売上、BE研究掲載料、原子力発電参加費収入、 次期軽水炉WG懇親会参加費・賛助金収入、BE・原子力発電・原子力安全夏期セミナー参加費 材料・核燃料・水化学合同セミナー参加費他収入 核融合・HMS賛助金収入、 核融合寄付金2,000千円・再・リ寄付金18,461千円・リスク寄付金878千円⇒指定正味財産へ	8,403
21	連絡会	5,848	5,672	-176	5連絡会 SNW賛助金(4,552千円)、シホ・ジウム参加費・懇親会参加費学生シホ・ジウム広告料・展示料・旅費補助金	4,866
22	支部	610	327	-283	8支部 北海道共催金、東北、関東・甲越、関西支部懇親会参加費	548
23	福島プロジェクト	0	0	0		0
24	福島第一原発廃炉検討委員会	0	0	0		0
25	福島復興・廃炉推進学協会連絡会	0	0	0		0
26	原子力総合シンポジウム	0	0	0		0
27	会員獲得・原子力理解活動事業	0	0	0		0
28	その他事業	2,490	2,540	50	標準ISO著作権使用料(9千円)、オプショナル賛助金(2,200千円)、アゴラ調査懇親会費(331千円)、	2,275
29	⑤受取補助金等(助成金含)	0	0	0		555
30	⑥受取負担金	0	0	0	各事業部門で計上	0
31	⑦受取寄付金	0	7,052	7,052	寄付金(52千円)、SMiRT27寄付金(7,000千円)	11
32	⑧雑収益	2	3,081	3,079	複写費、利息、盾代、SMiRT27委託費用返済金(2,941千円)	11
33	⑨基金・繰越金振替額	6,325	8,586	2,261	指定正味財産より繰入 (部会繰越金5,635千円、基金事業2,951千円)	3,220
34	経常収益計	202,506	209,113	6,607		224,981
35	(2) 経常費用					
36	①事業費					
37	受託研究事業	980	734	-246	契約1件 原子力安全モラル講習会 講師謝金・旅費	7,841
38	倫理委員会(図書)	0	53	53	送料	8
39	報告書作成	346	1,180	834	「原子力がひらく世紀」年間保管料、放射線遮蔽ハンドブック応用編50冊増刷代(221千円)、送料	131
40	編集委員会	38,888	36,919	-1,969	学会誌24,633千円、英文10,367千円、和文1,919千円	35,237
41	(福島関連論文英文化事業)	(0)	0	0		0
42	標準委員会	22,900	16,994	-5,906	嘱託・派遣人件費、許諾申請手数料、旅費、講師謝金、複写費、送料、 近畿大(春)送料、消耗品、	18,684
43	大会・年会事業	8,640	8,855	215	2025おひらき(春)2,074千円Confit利用料、決済手数料、ZOOM利用料、PC賃借料、印刷代 東北大(秋)6,781千円 Confit利用料・QR発行・個別認識料金、懇親会費、大学清掃・設営費用、印刷代、 講師謝金、消耗品、決済手数料、参加費作成費用、送料他	8,760
44	部会	19,006	10,220	-8,786	19部会 メーリングリスト使用料、レンタル利用料、BE部会誌作成費、国際会議旅費補助 次期軽水炉WG報告書作成費・懇親会・講師謝金、発電他産業交流会バス代、部会賞盾代、リスク国際会議運営費、 夏期セミナー会議室料、テキスト印刷費、決済手数料他	8,513
45	連絡会	6,519	4,519	-2,000	5連絡会 秋の大会運営旅費、ドメイン利用料、SNW旅費、シホ・ジウム開催費用、会議室使用料、ZOOM使用料、 翻訳料、学生ホステル副賞 学生シホ・ジウム旅費	4,742
46	支部	5,887	3,992	-1,895	8支部 レンタル利用料、会議室料・旅費・支部表彰盾・副賞、講師謝金・旅費 役員投票経費、見学会旅費、合同事務局分担金、OS印刷代・交通費材料費・保険料他	3,577
47	研究・調査・特別専門委員会	1,387	794	-593	7研究、2調査専門委、報告書印刷費、会議室料、レンタル利用料、講師謝金旅費、懇親会費	37
48	福島プロジェクト	203	22	-181	旅費	11
49	福島第一原発廃炉検討委員会	2,125	715	-1,410	1F視察バス代、有料道路代、複写費、貢献賞盾代、シホ・ジウム会議室・講師謝金旅費	968
50	福島復興・廃炉推進学協会連絡会	10	11	1	ドメイン年間利用料	10
51	原子力総合シンポジウム	122	1	-121	旅費	1
52	会員獲得・原子力理解活動事業	0	0	0		355
53	SMiRT	500	500	0	委託人件費	0
54	常置委員会	2,873	2,080	-793	企画、部会等運営、広報情報、ワークショップ、教育、倫理、ダイバーシティ、標準活動・ISO運営費	3,228
55	事業人件費・経費	47,812	46,340	-1,472	事業部門人件費、事務所賃借料、複写費他	45,147
56	その他基金事業	1,691	1,640	-51	国際協力基金(1,040千円)、日米欧学生交流基金(600千円)	1,649
57	事業費小計	159,889	135,569	-24,320		138,899
58	②管理費					
59	総会、理事会、他委員会	1,724	1,712	-12	総会、理事会、総務財務、会員サービス、表彰推薦	2,697
60	管理人件費・経費	61,162	56,142	-5,020	管理部門人件費、事務所賃借料、機器賃借料、WEBサイト保守管理料、複写費他	59,336
61	その他基金事業	1,515	1,323	-192	学会賞(561千円)、フェロー(762千円)	1,206
62	管理費小計	64,401	59,177	-5,224		63,239
63	経常費用計	224,290	194,746	-29,544		202,138
64	2. 経常外増減の部					
65	経常外増減					
66	当期一般正味財産増減額	-21,784	14,367	36,151		22,843
67	一般正味財産期首残高	313,755	313,755			290,912
68	一般正味財産期末残高	291,971	328,122			313,755
69	II 指定正味財産増減の部					
70	(1)特定資産運用益	0	34	34	利息	1
71	(2)受取補助金	600	600	0	日米欧学生交流基金	0
72	(3)受取寄付金	1,150	22,362	21,212	フェロー(753千円)・山田(270千円)、核融合(2,000千円)、再・リ(18,461千円)、リスク(878千円)	2,007
73	(4)一般正味財産への振替額	-6,325	-8,586	-2,261	部会繰越金5,635千円、基金事業2,951千円	-3,220
74	当期指定正味財産増減額	-4,575	14,410	18,985		-1,212
75	指定正味財産期首残高	74,511	74,511			75,723
76	指定正味財産期末残高	69,936	88,921			74,511
77	III 正味財産増減の部					
78	1. 正味財産増減額	-26,359	28,777	55,136		21,631
79	正味財産期首残高	388,266	388,266			366,635
80	正味財産期末残高	361,907	417,043			388,266

独立監査人の監査報告書

2025年5月9日

一般社団法人日本原子力会
理事会 御中

公認会計士庄司会計事務所

神奈川県川崎市

公認会計士

庄司 未光

監査意見

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本原子力学会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容

に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような

事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

2025年5月21日

一般社団法人 日本原子力学会
代表理事 大井川 宏之 殿

一般社団法人 日本原子力学会

監事 大柿 一 史

監事 竹野 美奈子

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等及びその附属明細書の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上